



ポットラック

プロジェクト

トーク&ワークショップ

開催日 2025/03/02 Sun.

REPORT 09

S&Dスポーツパーク富士見を起点としてさまざまな世代、さまざまに暮らす市民の皆さんにとっての居場所をつくっていく「ポットラックプロジェクト」のトークとワークショップが3月2日にクラブハウス1階倉庫跡地で開催されました。トーク9名、ワークショップ10名の方が参加され、新しくできるスペースをどんな拠点にしたいかについて話し合いました。このレポートでは当日のトークの内容や出されたアイデアをご紹介します。

ポットラックプロジェクトって？

自分の楽しみ、やりたいこと、できることを持ち寄る。
小さくはじめる、日常の公園あそび。

本事業は地域の皆さん自身が、公園を「つかう」「つくる」「つなぐ」ことで、さまざまな世代、さまざまに暮らす皆さんにとっての居場所をつくっていく事業です。2023年度から3年かけて取り組みます。「トーク」「ワークショップ」「イベント」の3つのプログラムの中で、公園での過ごし方について考え、企画をつくり、実践。それを繰り返し行うことで、一過性ではない、新しいつながりと日常の中での過ごし方が生まれることを目指します。皆さんが普段の生活で愛用しているもの、やってみたいと思っていることなどを「持ち寄り（ポットラック）」してほしいという想いをこめて命名しました。



2024年度のすすめ方

	2024 年					2025 年						
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
イベント		6/15	7/15		9/16		11/10			2/11		
トーク				8/23			11/10				3/2	
ワークショップ		6/15								2/11	3/2	

無理なくイベントを開催したり、集まることができるように話し合っ
て決めた今年度の活動予定です。イベント前後に、準備会やふりかえり
会をこまめに開催しながら今年度の取組を進めていきます。

miri-meter とは

建築ユニット「mi-ri meter」は、公共空間に自分たちで手を加えることで、家のようにのびのびと幸せに過ごすことができるまちの居場所になるよう活動しています。場所に関する固定概念をワークショップやツールなどを使って読み替えやすくしたり、DIY で公共空間をつくるサポートなどを行っています。

外遊びを楽しむツール

外遊びを楽しめるツールのひとつとして、「PUBLIC PARTY KIT」を紹介します。キットの中にはパーティーの説明書やレジャーシート、おやつ、寒さ対策の非常用ブランケットなどを入れています。キットの中に入っているものもみんな別々で、集まると1つの食べ物ができるしかけがあります。また、公共空間に関わるきっかけとして、歩道に並べたプラスチックコンテナに植栽を植え、そのコンテナを1人1つずつ管理する取組もありました。みんなが自分のタイミングで訪れ、植栽をお世話することで維持管理ができたり、まちへの関わり方が増えました。

日常への定着

「鳥取藝住祭」では、川を身近にすることをテーマに、地元の3つの商店街の店主たちに手伝ってもらいながら、川をまたぐ橋から川辺に水を流す濾過装置をつくりました。濾過する前に川の水の水質調査をしたところ、意外にもきれいでした。橋の上からみていた川は少し汚く見えていましたが、実際はきれいであることがわかりました。橋の上はお祭り状態でにぎやかでしたが、川辺はまったりとチルい感じでカフェのようにしていました。お祭りの延長線上に日常の活動があることを意識し、取組を定着させなければならないと感じています。



みんなでつくる居場所

私たちの事務所は、シェアキッチンやシェアオフィスが併設されています。水道をはじめとする専門的なことは業者に依頼しますが、家具はすべて DIY にしてつくりこみすぎず、関わる余白を大事にしています。また、内装工事に関わった吉祥寺にあるシェア型本屋「ブックマンション」では、本屋のオーナーを集めながら、クラウドファンディングで活動資金も集めました。最初のつくる段階から関わる人を増やし、みんなで作った自分の居場所になっていきました。

ポイント!!

- 日常的な取り組みや拠点は誰かがちゃんと管理していることがわかるしくみをつくる
- イベントではなく、日常の風景に変えていく
- 自分の試行錯誤をみんなに情報共有する
- 場をつくる段階では、みんなが関わるができる余白をつくる



笹置さん



宮口さん

いろいろな事例を紹介しました！
活動する上での難しさはありますが、試行錯誤する参考になればと思います。

外遊びに使えるサコッシュづくり ＋倉庫を使った地域の拠点づくり

STEP 01

クラブハウス1階倉庫前では、外遊びで使うのにぴったりなサコッシュ（ミニバッグ）をつくるワークショップを行いました。また、これから公園の拠点になる空間をどのように使いたい、公園でどんなことをしたいかのアイデアを募集しました。



STEP 02

今回は、クラブハウス1階倉庫跡地をみんなで使える拠点にするために、使い方や備品、ルールについて具体的なアイデアを話し合いました。ここでは、地域の拠点に関する意見や内容を一部紹介します。



拠点の使い方

- やってみたい活動のスタートアップの場として貸出
- カフェコーナーの併設
- 演奏会や練習などの音楽活動
- ポットラックメンバーと学生が会って話せる場所
- ポットラックプロジェクトを紹介する案内所
- 拠点をみんなで改修

あったらいい備品や仕組み

- 公園の遊び方、過ごし方カードと備品の貸出
- 倉庫前に椅子をおく
- コミュニティノートや掲示板で来場者と交流
- 給湯スペースや給水スポット
- オープンしていることがわかるサインや日差し
- 本や作品などを展示、共有できるレンタルボックス

みんなが使いやすいルール

- 使い方を試しながらルールを決めていく
- 拠点の「名称」を決めたい
- フリースペースではきっかりがないと入りづらいかもしれない
- 無料の登録制にする
- 学生デイなど中高生の居場所として開放日を設ける